

## 太平洋を渡ったアワビ漁師たち

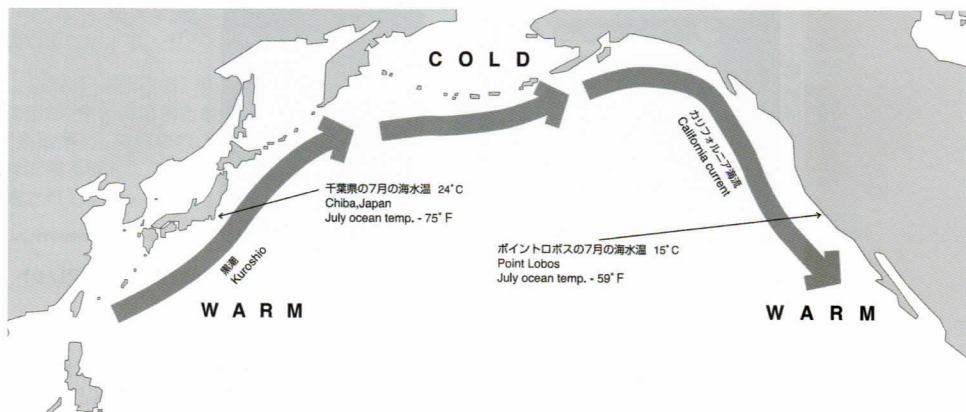
明治中期より、小谷源之助・仲次郎兄弟をリーダーとする房総アワビ漁師たちは渡米し、モンレーで器械式潜水のアワビ漁に成功した。弟の仲次郎は帰国し、地域の水産教育に尽力し、潜水夫の供給を行った。

「万祝(まいわい)」という漁師の着物には、日米の国旗とUSAの文字が染められている。日本人初のハリウッド俳優・早川雪洲は千倉の出身で、兄が渡米したアワビ漁師だった。日系人村のゲストハウスには、政治家の尾崎行雄や画家の竹久夢二らが滞在している。

しかし戦争がはじまると、日系人は砂漠の強制収容所に送られた。米軍への忠誠を求められ、コロネット作戦の情報収集に協力させられた。日米に別れた家族はバラバラになり、アワビ漁師の歴史は幕を閉じた。



万祝



器械式潜水

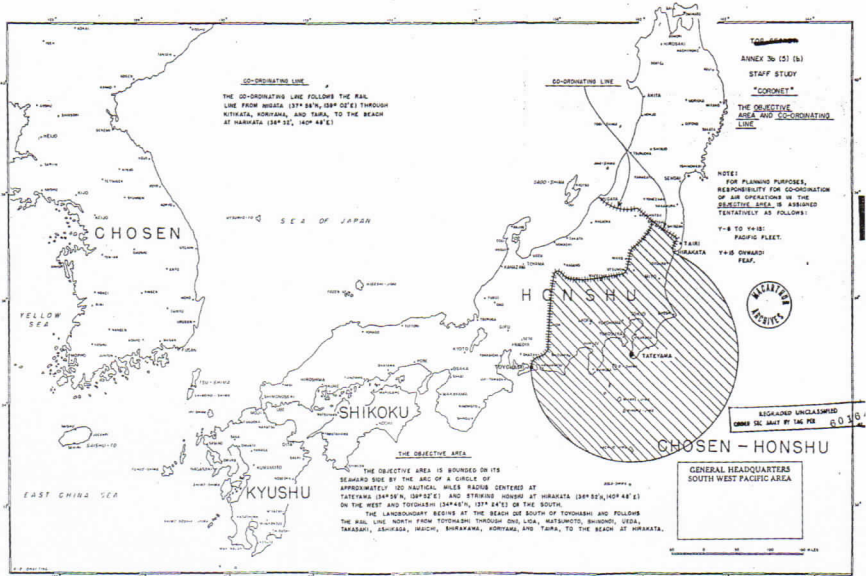


ゲストハウス (中央は尾崎行雄・竹久夢二)



アメリカのアワビ

# コロネット作戦とアメリカ占領軍の「直接軍政」



コロネット作戦計画図

アメリカ軍は、関東一円をターゲットにした日本本土侵攻計画「コロネット作戦」を立てた。その中心地は、館山を指している。これは、日系人強制収容所に入れられたモンローの房総アワビ移民から情報収集したと考えられている。

敗戦となり、ミズーリ号の降伏文書調印式の翌日、アメリカ占領軍3,500名が館山に上陸し、本土で唯一「4日間」の直接軍政が敷かれた。近年、市民の調査によって忘れられていた歴史が明らかになり、日米の市民交流が行なわれている。



上陸地の今



1945.9.3 AM9:20 館山にアメリカ占領軍上陸